

秋冬で提案領域を広げる 平均単価を維持、品質向上



サンエー・インターナショナルの子会社、フリーから商品提案の幅を広げていく。OL層へのきれいなスタイリングや、デニムのMD強化など今秋冬で訴求。店舗数も増え平均単価は維持しながらオリティーを上げる。

「フリースショップ」のファストファッション版として昨春秋に立ち上げた。上期(9-12月期)は6店舗で計画比67%増と好調、上方修正した下期も計画を上回る推移。現在13店舗と店舗数も増

現在13店舗で好調を
継続(今秋冬企画)

え、今秋も2、3店舗の出店を計画する。デザインディテールを施したカットソー(Tシャツ1900円)などがコンスタントに動くほか、半端丈パンツ、直近ではチノパンツ(4700円)がヒット。今秋冬も1900-4900円の中心価格を維持しながら、全般にクオリティーを高める。

「フリースショップ」としてのブランド認知が進んだことで、今秋冬は商品の提案領域を広げる。OLカジュアルのきれいな表現は「フリースショップ」のノウハウがある。フアーの小物やバスケットなどトレンドのニットとのスタイリングを訴求。デニムはオリジナル、買い付けと一定の型数を揃えるが、奥行きを増しながらTシャツとのセット提案でシーニングの訴求を強める。デニムパンツ4900円、Tシャツ1700円が中心。

オリジナル企画全般にはフルディックのマウンテンガール、ミリタリー、プレッピーをテーマに構成する。マウンテンガールはフェアアイル柄を、薄手のブラウス、カットソーで表現。毛足の長いニットなどビッグシルエットに細身のニットやレギンスパンツの組み合わせもポイントとなっている。ミリタリーは金ボタンなどのディテールや、よりフェミニンな表現。ニハイソックスや細身のパンツにレックウオーマーのポリウレーム感。プレッピーは大きめなチェック柄やロングシャツに短丈ニットの組み合わせ、ニットスカートの着けずし感、Pコート、ダッフル、フアーなどポリウレーム感ある小物がポイント。

「カリアング」とのコラボ企画を8月から展開しマンスリーでエスティングを打ち出す。